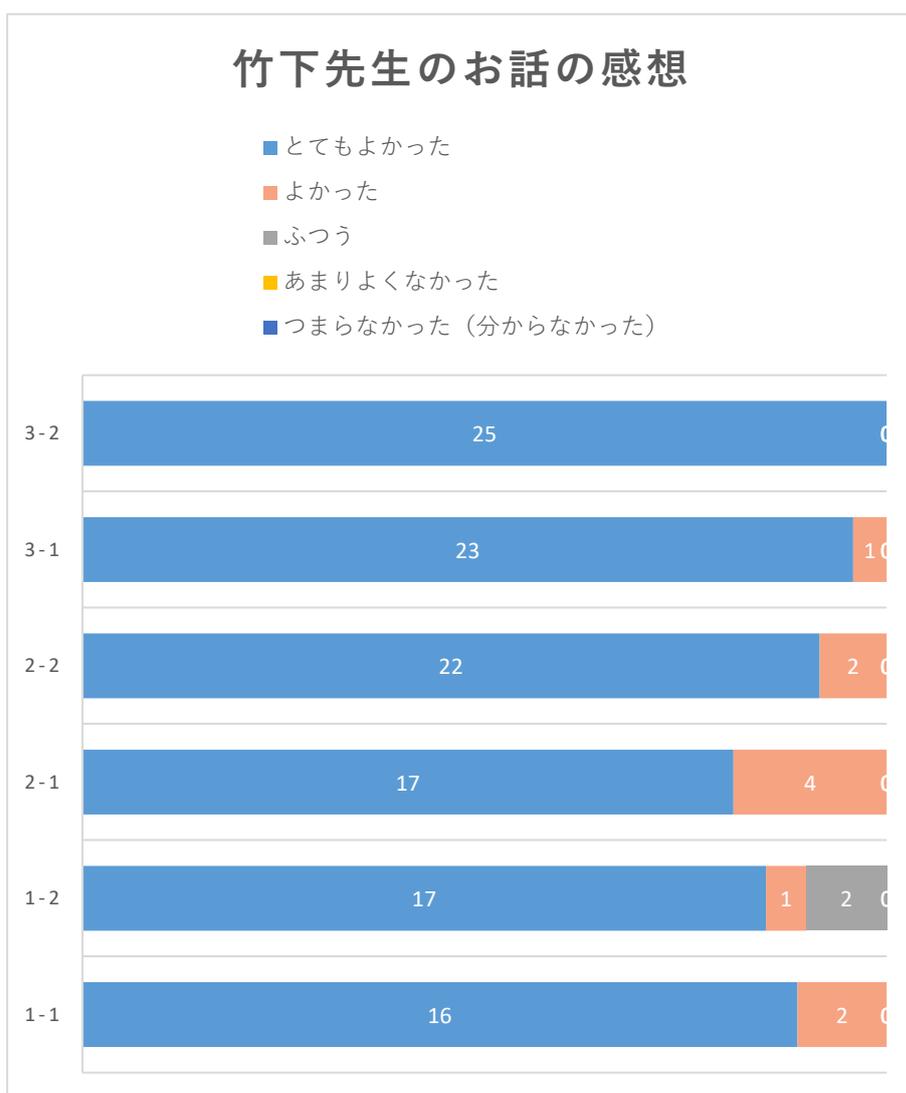


弁当の日講演 喜界中学校生徒アンケート

感想	とてもよかった	よかった	ふつう	あまりよくなかった	つまらなかった (分からなかった)
1-1	16	2	0	0	0
1-2	17	1	2	0	0
2-1	17	4	0	0	0
2-2	22	2	0	0	0
3-1	23	1	0	0	0
3-2	25	0	0	0	0



## 1年1組

- ・今まで家事はお手伝いぐらいでそんなにやってこなかったけど、もう少ししっかりとした家事をしようかなと思いました。
- ・私は最初、母に「ごはんはいつ？」と聞いていたけど、今日の話聞いて、母はいそがしいから自分で作ってふるまってもいいかと思いました。
- ・私の家では、担当するものが決まっています。私は米あらいと皿あらいです。私は料理が作れません。私は料理が作りたいです。親は料理人です。私も、親のようにになりたいです。
- ・自分で料理することの大切さを知りました。これからは、少しずつ料理にちょう戦したいです。
- ・いつもお母さんが料理をしてくれていて、仕事も大変なのに朝・昼・夜も作ってくれているので、私も難しい料理は作れないけど、少しでもお母さんのためにできることをこれからしていきたいと思った。
- ・自分で朝ごはんのみそ汁やごはんを作るのをがんばってみたい。親が、ごはんを作ったり、洗たくをしてくれたり、そうじをしてくれたりすることを当たり前だと思わないように生活していきたい。
- ・お父さんとお母さんがごはんを作ってくれたり、そうじをしてくれたりすることが、当たり前だと思わないようにし、ごはんを作ることの楽しさを知っていきたい。
- ・今回、見直したことがあります。弁当は、お母さんの作るものだと思っていました。でも、自分で作る事が大切なことを知れました。自分の気持ちに、もっと正直になりたいです。
- ・たまには手作りクッキーなどを作って食べてみたいです。自分で作ることは大切だということに気づいた。
- ・今までは、たまにしか料理などをしたことがありません。そしてお母さんがいません。なのでこれからは、しっかりとお父さんに感謝し、父の日や母の日などに自分の手料理をふるまい、感謝の気持ちを伝えられるような自分に成長できるように、がんばりたいです。
- ・これから親や兄弟、おばあちゃんやおじいちゃんに、自分の作れる料理を作りたいです。これから自分から進んで料理をしたいです。
- ・今回の講演会で、いつまでも親がごはんを作ってくれるのは当たり前ではないということを改めて知ることができた。いつまでもご飯を作ってもらうのではなく、時には自分で作ってみようと思った。ごはんが作れなくても、その後の皿洗いや洗濯物を手伝ってあげたい。
- ・今の時期にしたいことなどを大切にすることや、周りのことを考えるなどが分かりました。料理をすることで培われることも分かりました。料理にも関わっていききたいです。また、家の仕事をどんどん手伝ったり、自分からすすんでしていきたいです。
- ・私は今まで自分でご飯を作ったりしたことないし、まず作ろうなんて思ったことはありませんでした。でも、今回個の講話を聞いて、親にたよらずに自分で作ってみようと思いました。なので、これからがんばってみようと思います。
- ・講演会ありがとうございます。僕は、ご飯は親が作る物だと思っていたけど、この講話を聞いて、自分で作れるようになりたいと思った。
- ・はなちゃんの話聞いて、小さい子でも毎日料理をしているのに、私はたまにしか料理をしないことが、少し恥ずかしくなりました。お母さんもお父さんもお兄ちゃんもおいしい料理を作ってくれるので、私も作れるように、みんなから教えてもらいたいです。
- ・今まで料理をしたことはあまりなかったけど、これからは少しずつ料理をする時間を増やしていこうと思った。そして料理をするのが楽しみになりました。ありがとうございました。
- ・自分で料理をできるようになる事はとても大切な事だと思いました。親がいつもみそ汁などの朝ご飯を作ってくれているのに、入らないと言って残してしまっていました。親がご飯を作ってくれるのは当たりの事ではなく、親に感謝しながら食べようと思います。機会があれば料理にもチャレンジしたいと思っています。

## 1年2組

- ・週に何回か自分でごはんのみそ汁を作れるようにがんばりたいです。
- ・僕はまだ、みそ汁やご飯などが作れないので、中学2年生までには、作れるようにがんばりたいです。お母さんよりおいしく作れるようがんばります。
- ・今まで親に料理をしてもらっていたけど、たまに作ってあげたいと思った。朝ご飯は週に2、3回ぐらいしか食べないから、これからは食べるようにしたい。
- ・私が2年生の頃にお母さんが病気にかかってしまって、料理をするようになりました。お母さんに教えてもらった米たき、卵焼きが得意です。今日、この話を聞いて、料理って大事なんだなと思いました。これからもやりたいです。
- ・私は5才の頃から包丁をにぎり台所に立っていました。その時から母は週末のご飯を私に作らせていました。その時はめんどうだと思っていたけど、母なりに私が自立した人間になるようにしてくれた事だから、感謝して過ごしていこうと思った。
- ・いつもお母さんが家事をやっていたので、一緒にやろうと思った。

- ・しっかり自分で作れるものは自分で作ったり、家族の分を作ったりしたいです。
- ・はなちゃんのみそ汁の本を読んでみたいと思いました。家で時間があるときなどに料理してみたいです。
- ・どんだんご飯とみそ汁が作れない人が増えてきていて、それが大変なことだということが分かった。なのでこれからは、毎日じゃなくてもできるときは、自分でも料理を作れるようにしたい。
- ・小さいころから母がいなくて、おばちゃんのご飯作ってくれていました。でも小学生のころから手伝いをし始めて、ふつうに料理はできるほうだと思います。なので大人になっても料理作りをがんばりたいです。あと、新しい料理を作ってみたいです。
- ・ぼくは料理を作る事ができますが、レポートリーが少なく、ちがう料理を一週間出すことができません。今回の事で親にもっと料理の事を聞きたいと思いました。
- ・これまでは、たまにしかごはんを作っていなかったけど、これからはいろいろなごはんをたくさん作ってみたいと思った。ごはんを作るときには、自分で考えて買い物までしてみたいと思った。
- ・弁当や食事は親が作る物だと思っていました。けど、5さいのはなちゃんは小さいころから食事を作っていたので、すごいなと思いました。私もこれから、食事に向き合う時間と遊ぶ時間を大切にします。
- ・手伝いはしたほうがいいことに気付いた。
- ・今までは、ごはんなど親が作ってくれるのは当たり前だと思ってたけど、今日の講演を聞いて、自分もちょっとは作ろうと思いました。
- ・料理以外はできるので、これからお母さんに料理を少しずつ教えてもらいたいです。
- ・今まで親が弁当や朝ご飯、夜ご飯を作るのが当たり前だと思っていた。これからは自分も弁当を作ったり料理をすることに関わっていききたい。
- ・料理を作るのは、これから生きていくうえでは大切だと思っていたけど、そういうちょっとしたことで、将来にえいきょうが出てくることは初めて知りました。それ以外でも、脳のことなどの関係も知れて良かったです。
- ・今まで、洗濯干しや食器洗いなどしか手伝うことがありませんでした。だけどこれからは、風呂そうじやトイレそうじなどをしっかりしたいです。あと、自分の服の整理整頓も苦手なので、しっかりしたいです。これから自分のことは全部自分でしたいです。
- ・私の家では、幼稚園で働いている母と、ごみの収集をしている父がいます。いつもお皿洗いをしています。弟はご飯たき係です。今日の講演を聞いて、料理に対する気持ちが変わりました！今日は本当にありがとうございました。

## 2年1組

- ・今日まで弁当も何も作ったことがなかったけど、この話を聞いて弁当を作ることがとても大切なことだとわかった。これからは少しでも親の手伝いや弁当を作れる時は作っていききたいです。
- ・少しは料理したほうがいいこと。めんどくさいことを少しでもやったほうがいいってこと。最近いところから魚のさばき方を教えてもらえたから、がんばってみたいです。
- ・僕は弁当を作ったことがありません。でも、自慢できて、自信がある料理が一つあります。それは、卵焼きです。おばあちゃんに卵焼きの作り方を教わって、そこから自分で作ってみて、おばあちゃん、お母さん、お姉ちゃんに食べてもらいました。そしたら、「美味いじゃん」と言ってくれました。他にも作れるようにがんばりたいです。
- ・子供の頃から料理の手伝いなどをした方が将来のためになるということが、和男さんの話で分かった。これからは、母の日や父の日などの家族に感謝する日などに、自ら進んで親の手伝いや料理をしたいと思った。私は、親に言われなきゃ基本は仕事を手伝わない人だったので、これを機に、自ら進んで仕事をしたいと思った。
- ・料理があることが当然だと思わなくなった。いつも温かいご飯があることに感謝しないといけない。親に、私はたくさん迷惑をかけてきて、たくさん苦労させてしまったけど、毎日温かい手料理が出てくることを当然だと思っていた。自分にできることを探しても、失敗ばかりで何も役に立てなくて、いつも親が代わってくれていたから、少しでも親の手伝いをして、自立できるようにしたい。
- ・私はいつも祖父母と暮らしていて、祖母に料理をしてもらっています。私は祖母がご飯を作っていることを当たり前と思わず、自分で作ってほしいと思う。分かったことは、勉強だけでなく、友達と遊ぶことなども大切にしたい。私はあのスライドショーを見てなみだがこぼれでそうになった。自分のことだけでなく、相手のことも大切にしようと思った。
- ・私は、すごく料理が苦手な今まで逃げていました。1か月には1回お弁当を作る機会があるのですが、いつもお母さんやお父さんに作ってもらっていたので、これからはもっと上手に作ることにできるように自分の力で作りたいです。今日話を聞いて、今のうちからいろいろなことに取り組んで、将来じゃなくて今からでも、家族のために料理を作れるぐらいいろいろな料理を作っていききたいなと思いました。
- ・私のお母さんもお父さんもよく「ご飯を作れるようになりなさい」と言います。作りたい気持ちはあるけど、いざ作れと言われるとめんどくさい気持ちが勝ちます。でも、今日のお話を聞いて、作りたいときに自分から作ってみようと思います。お母さんはよく作るのがめんどくさいと言いながら、おいしいご飯を作ってくれます。お母さんにも毎日ご飯を作ってくれていることに感謝し、伝えていきたいと思っています。

- ・私は、家で手伝いとかはしているけれど、毎日家事にたくさん関わっているわけではないから、もっと家事と関わる時間を大切にしたい。家事ができなくて当たり前を、出来て当たり前に変えられるようにしたい。
- ・私は、どっちかという母の手伝いをする方だと思います。けどそれは、イヤイヤやっているの、今回の話を聞いて、みんなのために出来るようになりたいです。
- ・私は、今食べれている、作ってもらっているご飯が当たり前じゃないものだと感じた。だから、今回の話を聞いて私も弁当を自分で作ったりしていきたい。家の人と協力して家事をしていきたい。はなちゃんのスライドショーを見て、食事を作ったり、がんばることが大切だと感じた。
- ・弁当やごはんを自分で作れるようにしたいです。僕は、ごはんや弁当を母に作ってもらっているの、大会の日や朝ごはんなど自分で作れるようになりたいです。
- ・世の中には子どもを産んでも育てられない人がいることを知りました。私は母一人で四人を育ててくれているので、毎日作ってくれていること、育ててくれていることに感謝してご飯をたまに作りたくと思います。
- ・竹下先生の話聞いて、改めて両親の大切さと食のありがたみを感じた。これからは料理をすることを増やし、食に感謝して生きていきたい。
- ・一人で弁当を作ったことがないので、母の手を使わずに一人で作りたくと思いました。母がいないと弁当の作り方が分からないので、母がいて感謝です。お米をたくのと、みそ汁を一人で作れるようになりたいと思いました。
- ・今まで、親が作ったご飯に文句をつけた時もあったけど、これからは親に感謝してご飯を食べたいと思う。ご飯は、親が作るのが当たり前だと思っていたが、当たり前だと思わないように、ご飯作りを手伝ったりしていきたいです。
- ・はなちゃんのみそ汁という物語をすっかり初めて知ってとても感動しました。ご飯が食べられることは当たり前じゃないことが改めて分かりました。ご飯を食べられることに感謝し、料理を作っていきたいと思いました。
- ・これからは自分自身のことだけ考えるのではなく、親や家の手伝いをしっかりしていきたいと思いました。少しずつ料理も覚えて朝ご飯は自分で作れるようになりたいと思いました。
- ・親にばかりご飯作りを頼らずに自分でも作ってみようと思った。今から自分でご飯を作って、将来楽しい家庭を築きたいと思った。偏食をしないようにしたい。自分のことだけを考えず、相手のことも考えて行動したい。早めに料理の技術をつけたい。
- ・親が身の周りのことをするのが当たり前と思わないようにする。少しは料理できるけど、まだ出来ない事が多いから、勉強していきたい。母親と一緒に住んでいなくて、父親と住んでいるけど、父親が遅く帰ってくる時は毎回弁当で済ましたりしているの、どんな時でもつくってみようと思った。
- ・今までの講話の中で一番面白く興味があった講話でした。5歳でもみそ汁を作れるので、僕も挑戦しようと思った。また竹下さんに講話をしてほしいと思った。

## 2年2組

- ・私は今まで、大人になるまで料理を作るのはしなくて、母親に任せるのが当たり前だと思っていました。今自分が何も作ったりしないからです。でも、今日の講話を聞いて、大人になるまでは料理を作らなくてもいいという考えが頭から消えました。理由は、日本には五歳の頃から家事や料理を学んで作っている人がいて、親が家事や料理をしていない生活の人もあるから、今自分が親にしてもらって当たり前だと思っている事を、今後は自分がしていきたいと思いません。料理を自分で作れる努力をしてみようと思います。そして、今日あった出来事を家族にも話してみようと思いました。
- ・私の母はいつも、「自分のことだけでなく、周りの人のことも考えなさい」と言います。私は自分のことだけでいいと思っていたけど、今日の講話を聞いて、自分のことだけでなく相手のことを考えていきたいと思いました。また、「お弁当の日」というのは楽しそうだなと思いました。一人で弁当を作るのは大変だけど、作れたら達成感がすごいと思うので、自分で作ってみたいです。
- ・僕はインスタントラーメンやインスタントみそ汁を作ったことはありますが、1から作る料理を作ったことがありませんでした。料理だけでなく、最近は家の手伝いも親の人に任せっぱなしでした。このまま続けていたら将来だめな大人になるかもしれないので、これを機に家の手伝いを積極的にしていきたいです。お父さんやお母さんが今まで育ててくれたことに感謝していきたいです。そうすることで思いやりのある大人になると思うので、がんばってみたいです。
- ・気づいたことは、僕が思っていた以上に親が子育てをしたくないと言っていたところでした。子供がいるのに、子供をどっか売るといふことにびっくりしました。はなちゃんが一人で小学生の頃からお父さんの分と自分のご飯を作っていることにびっくりしました。僕だったらすぐあきらめてしまいそうだけど、はなちゃんは小学生ながらも一生懸命家の仕事をすることに尊敬しました。僕も今日からはなちゃんのことを見習ってみたいです。
- ・私は、今日の講話がとても心に残りました。私は、おばあちゃんと二人で生活していて、沢山負担をかけているところがあると思うので、今までよりもっとお手伝いを頑張りたいと思いました。私のおばあちゃんは、この前何かの病気になって鹿児島県の病院に行きました。それまでは危ないからと言って一度も台所に立たせてもらったことはありませんでしたが、それ以降は台所に立たせてくれて色々な料理を教えてくださいました。今日の昼休みに図書室に行って「はなちゃんのみそ汁」の本をさがしてみました。喜界中学校の図書室にはこの本はなかったので、リクエストBOXに書いてみました。学校にこの本がきたら読んでみようと思います。今日の講話をこれからも忘れず頑張っていきます。

・今回の講話で、両親に家事をやってもらっているありがたみを知ることができました。ぼくは、母がいないとか父がいないとかではなく、両親がどちらもいます。だからついつい甘えてしまって、親に何もかもまかせっきりになってしまいます。でも今回の講話で、世の中には母親しかいない人や父親だけしかいない人がたくさんいて、そういう人たちは自分で料理を作っていたり、家事をする人がたくさんいるとわかりました。これからは、自分の出来ることは自分でしていこうと思いました。

・私は、お母さんとお父さんどっちともいて、両親共働きしています。毎日お母さん、たまにお父さんが、朝ご飯、夜ご飯を作ってくれます。今日、「はなちゃんのみそ汁」講演会を見たり聞いたりして、毎日両親がご飯を作ってくれたり、家事をしてくれたりするのは当たり前ではないことに気づくことができました。両親、仕事が忙しく疲れているのに、私達のことを優先してくれています。これからは、私の将来のためにも、両親のためにも、自分でご飯を作ったり、作ってあげたりして行って、感謝の気持ちを伝えたいです。

・私は料理が苦手でもんどくさいと思っていたけど、たまにお母さんにちょっとしたものを作って出すと「おいしいありがとう」と言ってくれます。いつもまかせっきりで台所に立とうと思わなかったけど、講演会を聞き、朝ご飯だけでも作れるようになりたいと思いました。お母さんの手料理を毎日食べている今の環境が生きている事を改めて実感しました。母子家庭で負担が多いはずなのに毎日家事、料理をやってくれています。今の私にできることは、料理などの手伝いをする事です。そして感謝の気持ちを忘れないで過ごしていきたいです。

・はなちゃんのみそ汁を見て感動しました。私は料理ができる人になりたいと思うだけで行動にうつすことが少なかったけど、今日の話聞いて、おみそ汁ぐらいは作れるようになりたいです。私は、いい環境で成長していけているんだなと改めて感じました。それは、お母さんやお父さんが毎日がんばってくれているおかげだと思うので、これからは料理や家事、掃除などを手伝い、感謝の気持ちを忘れないで過ごしていきたいと思いました。料理、家事、洗濯もできて自分中心にならないように気をつけていきたいです。

・自分の親が弁当やご飯を作ってくれるのは、当たり前のことではないということに気づきました。僕は親が料理をしてくれることがほとんどです。ですから「親が料理をするのは当たり前」という考えが少し頭にありました。でも、今日の講演を聞いて、それは当たり前ではないということに気づくことができました。僕は「はなちゃんのみそ汁」を聞いて、自分の親のありがたさと、これからは身の回りの自分のことは自分でしないとイケないということに気づくことができました。これからは、自分で料理をしていきたいです。

・いつ何が起きるか分からない人生の中で、料理と関わる時間を大切にしたいと思いました。料理を誰かが作ってくれていることを当たり前だと思わず、これからは作ってくれている人に感謝しながら、自分自身も料理作りに立ち向かい、料理と関わる時間を大切にしていきたいです。料理にもっと興味を持ち、料理を通してたくさんの人に感謝を伝えたいです。

・ご飯を作ってもらえる大切さ。自分でご飯を作るようになる。色々な料理を作れるようになりたい。料理の手伝いをしてがんばる。

・はなちゃんが反抗もせずに親に言われたことをしっかりして、人の話をすなおに聞くことは大事だと思った。これからは、今までよりも美味しいご飯を作れるように、味にこだわっていきたい。また、ご飯を食べる時のマナーや礼儀を学び、しっかりしていきたいと思った。家事を自分らしくなくてもいいという考えはなくそうと思った。

・まずは、先生の話し方や立ち振る舞い、声のトーンや例の出し方など、ありとあらゆる部分で感服致しました。私の指標として、麻生太郎さんがいました。上っ面だけではなく、自分の本音を語ってくれる彼と並ぶほどに凄いと感じました。話の内容からも、将来私がどうなるのか、容易に想像できました。将来まともに生きるためにどうすべきか、先生のおかげでよく分かりました。私自身感化されやすい人間なのですが、今回も私は自分に足りないことが何かが分かりました。

・一回もお母さんのご飯を食べたことがない人がいると聞いてとてもびっくりしました。私は、いつもお母さんやお父さんがご飯を作ってくれてとてもめぐまれているなあと改めて思いました。はなちゃんについての動画を見た時すごく感動しました。私もはなちゃんみたいにごはんを作れるようにがんばろうと思いました。

・自分は掃除や洗濯物、お皿洗いなどはしているけど、料理はあまりしないので、家族の分もお母さんに教えてもらってたくさんの種類の料理を作れるように、料理に関わりたと思いました。これから将来のことを考えて行動しようと思いました。

・幼い時から料理をしたら、もしもの事があった時のために一人で料理を作れると困らないということが分かった。弁当を作る大切さを学んだ。高校生になって自分で自分の弁当を作れるようになりたい。あと大人になったら作れる料理の種類が10種類以上になって、特に魚の料理がうまくなりたい。これからも命に感謝しているいろいろな食べ物を食べていきたい。

・ご飯のみそ汁をそんなにたくさんの人が作れないなんて知らなかったのでおどろいた。自分で作らないと栄養的にも経済的にもよくないので、もっとたくさんの方が作れるようにならなければならないと思った。でも自分もレパートリーがとても少ないので、もっとたくさん料理を知って、将来自分が料理に困らないようにすることが大事だなと思いました。これから頑張っていきたいと思います。

・意外と自分で料理を作れない人が、高校生、中学生、小学生とも、とっても多いと思った。幼稚園生からもう料理を作ることができる子がたくさんいることにびっくりした。これからは、自分でも料理を作る時間を作りたいと思った。

・僕は今回の講演で色々な事を学びました。今のうちから家事をしていないと、大人になってからが大変ということを知りました。はなちゃんのみそ汁というのを見て、親にばかり家事をさせないで、いろんなことを親から教えてもらい、そのことをこれから生かしていきたいと思った。

- ・中学生だからご飯は作れなくてもいいと思っていたが、この甘い気持ちが、将来子育てがめんどくさいなどというのにつながると思ったので、これからは、簡単なでもいいから弁当を作るようになりたい。
- ・中学生以下の小さな子どもでも、一人で家族のためにご飯を作って、中学生のみんなよりも一人でご飯が作れてすごいと思った。小学生から高校生で1%の人しかご飯とみそ汁が作れないことが分かった。
- ・どここの学校の人も自分でご飯を炊いたりみそ汁を作ったりができないと分かった。勉強だけではなく、思春期の今できることをすればいいことが分かった。講演を聞いてこれからは自分でご飯を炊いたり、料理をしたりしていきたいと思った。
- ・今日の講演会で、親が家事などをするのは当たり前じゃないと思うことが大切なんだと思いました。一人で家族全員分のご飯を私は作れないので、お母さんが料理をしている時などに教えてもらって作れるようになりたいです。作れないことを当たり前と思わないで、作れるのが当たり前と思えるように、これから教えてもらおうと思います。

### 3年1組

- ・僕は、家族分のごはんを作れますが、はなちゃんのようにお風呂そうじなどやった経験がないのですごいと思いました。これからは、もっと家の家事を手伝いたいです。
- ・私は、みそ汁は作れないけど、米を炊いたり、洗濯物を干したり、部屋を掃除したり、食器を洗ったり、親に教えてもらってやってきました。今回の講演会で「はなちゃんのみそ汁」という話を知って、母や父に帰ってから感謝の気持ちを伝えようと思います。そして、家事を親がするのを当たり前だと思わず、まずみそ汁を覚えたり、そこから色々な家事、料理を覚えていきたいです。
- ・これまでの講話の中で一番もっと聞きたいと思ったし、全部耳に入ってきました。親が今してくれていることは当たり前ではないと改めて感じました。もし、私にも子どもができれば、やるべきことは自分でできるだけやらせて、自分も一緒に楽しむことができたらいいなと思いました。
- ・私は、お母さんやお父さんがいるのが当たり前だと思っていた部分もありました。でも今日の講話を聞いてすごく心にひびきました。今できることは、自分を変えることです。だから、今日から、毎朝自分がみんなのために朝ご飯を作ってあげようと思います。春から高校生になる自分のためにも練習だと思います。この話は、一生分の勉強になりました。
- ・私は、普段家で料理をしていないので、これからはみそ汁づくりなどを手伝って、手料理を作れるようになって嫁入りできるようにしたい。ありがとうございました。
- ・私は学校から帰ってきたら、いつも母が晩ご飯を作ってくれます。けれど今日の講演会を聞き、自分でご飯などを作り、母に恩返しができるようにがんばります。ありがとうございました。
- ・今日は、講話をしてくださりありがとうございました。ぼくはいつも、家の事は母がして当たり前とっていました。ぼくにはお母さんがいません。なので、なるべく楽にさせてあげられるように、簡単な家事はしようと思いました。今日は、本当にありがとうございました。
- ・料理を作っていたけど、これからはもっと上手に手際よく料理をしたいと思った。お母さんの大切さは大きいと思った。
- ・今のうちから食生活を見直すと考え方が変わるということを知ることができました。はなちゃんのみそ汁のスライドショーを見て、はなちゃんやはなちゃんのお母さん、お父さんの気持ちが伝わってきてとても感動しました。映画を見たいと思いました。竹下さんがおっしゃっていた産婦人科の先生のお話などを聞いて、初めて知ることが多々ありました。また、学校一の悪さをしていた人が竹下さんの話を聞いて変わったということに驚き、でも竹下さんの話を聞いていくうちにその人が変わったということに納得しました。私もこれから、もっと自分でご飯を作る時間を作りたいです。
- ・今、自分が生きているのは、父と母のおかげだと思いました。私は自分で米を炊くことがあるが、回数も少ないので、これからは毎日米を炊きたいと思います。
- ・今までお母さんが料理を作っているのを見ていたので作り方は知っていて手伝ったりするので、一人で作れるようにしっかりと学びたい。
- ・今日は、講話をしてくださりありがとうございました。はなちゃんのみそ汁は、とても感動しました。母がご飯を作ってくれるのを当たり前と思わず、もっと食に関わろうと思いました。
- ・私も親に反抗などしていたので、これからは今日の事を思い出して生きていきたいです。
- ・私が普段生活していることが、どれだけ恵まれているのかとても理解しました。これからは、ご飯とみそ汁が作れるようにがんばりたいです。
- ・両親がご飯を作ってくれるのを当たり前と思わず、日頃の感謝を込めて、自分もご飯を作ろうと思った。今のうちから食生活を正しくしようと思った。
- ・自分でみそ汁とご飯を炊くことは大切だなと思った。自分の生まれてきた家庭はとても恵まれている方だと思いました。いつも母がご飯を作ることが当たり前になっていたの、これから自分でご飯を作ることを増やして行って、子供ができたなら自分の子供にご飯を作らせていこうと思った。虐待などを減らすように弁当の日を大切にしていきたいと思いました。
- ・家族が自分のために料理を作ってくれたり、今まで育ててくれたことにしっかり感謝して、これからは家族の分も自分で作ったりして、恩返しできるようにしたいと思った。

・動画でとても感動した。良い奥さんになりたいです。だから、将来あんな子どもの事を第一に考えられる親になりたい。心の真ん中に感謝を。自分よりも他人や大切な人のことを考えて、幸せな日をずっと過ごしたい。自分の作れる料理を増やし、家族や将来の人に食べてもらいたいと思った。なんでもまずは感謝。

・私はみそ汁が作れません。今回の講話を聞いて、朝ご飯、米が炊けてみそ汁が作れることが人間に大きな影響を与えることを初めて知りました。これからは、自分で作れるようになります。

・今日の講話を聞いて、非認知能力などのことについて、いろいろ知ることができた。そして、食事というものは家族や個人、社会にとって重要な事だということについて知れた。

・高校を卒業したら親から離れて一人暮らしをして、ご飯も自分で作らないといけないけど、私はみそ汁もおかずも作れません。なのでお母さんに私から「みそ汁の作り方教えて」と言ってみようと思いました。少しのおかずでも作れるように頑張りたいです。

・僕はときどき自分で料理を作ります。だから、今日の講演会は納得することが多かったです。これから、両親に感謝して食べ、台所に立つ時間や食に関わる時間を増やしていきたいです。

・私の家では母がほぼ毎日ごはんを作ります。だけど、ある程度の基本的なご飯は作れるようになりました。それが当たり前ではなく、両親のおかげであることがわかりました。島にはたくさん伝統料理があります。だからたくさん料理を祖母に教わりたいです。自分が後悔しないように、今のうちに成長しておきたいと思いました。今日はありがとうございました。

・冬休み、父に「勉強より大事なことがある。」と言われました。今まで手伝いや自分の事はちゃんとできているつもりでした。「ご飯とみそ汁が作れるか」と聞かれた時に手が挙げられませんでした。はなちゃんのお話を聞いて、食事で得られる喜びや力があることに気がつきました。父に言われた「大事なこと」は、「自分が生きていけるための力」なのだと思います。これから自分で出来ることを見つけて、言われる前に家族のためにできることを探したいと思います。私が驚いたのは、自分で子供をつくっておいて「いらない」という人がいるということです。ありえないと思いました。生活する環境も大切なのだと思いました。今日はありがとうございました。

### 3年2組

・小さい頃に、周りの人のことも考えられる人間になることが大切。あとは、気合と継続が大切。

・私も、母が夜遅くに帰って来ることが多いので、夜ご飯を作るチャンスだと思って、料理を作っていきます。

・親が料理を作るのが当たり前じゃないということがわかった。そしてはなちゃんのお話を聞いて、自分自身も料理をしていかないと！と思うことができました。

・私の家は兄弟が多いので、家事を分担して行い、今までは自主的にしようとは思わず、感謝など見返りを求めていたけれど、先生の話聞いて、兄弟が多い分、親も大変なんだし、自分が将来いい親になるためにも、家事を見返りを求めず、みんなのためにやろうと思いました。

・わかったことは、自分の人生は自分でしか変えられないけれど、自分の子供や子孫は、自分の日頃からの行いで変わるんだなと思いました。「はなちゃんのみそ汁」は、絵本も持って知っていたのですが、裏話などもお聞きすることができて、改めて料理や弁当の日の大切さを知ることができました。私は、家事のことを母に任せっきりでいたので、4月からは、弁当が始まる高校生活で、週に一度弁当を作ることを心に誓いました。本日はありがとうございました。

・僕の家のお弁当はいつも冷凍食品と白ご飯にふりかけをかけたものです。僕はお母さんにいつも「また冷凍食品」と言って、お母さんは「そんなことなら自分でご飯を作りなさい。」といつもけんかをしています。しかし、今日の講演を受けて、お弁当に何を入れればいいのかを調べて作ってみたいと思いました。

・今まで料理に触れたことがあまりないので、今日のことをきっかけに、少しずつ台所に立とうと思った。

・親がご飯を作るのは当たり前ではないと分かった。自分で作ることができる料理の数は少ないので、もっと料理を作る練習をしていきたい。

・私は、お母さんと妹、弟の5人家族です。お母さんが仕事で大変なときは私も家事をして協力しようと改めて思いました。よく食べて健康な身体をつくってみたいです。

・親に任せないようにがんばる。自分で料理を作るのが大切だと思った。

・今日の講演会は、すごく心に残るものでした。おかげで弁当やご飯を作る大切さがよくわかりました。それから今の日本の小・中・高校生の現状を聞いてすごくおどろきました。本当にすばらしかったです。ありがとうございました。

・自分で料理をしたりすることが大切。親に任せてばかりじゃなくて、これからは自分でがんばってみる。

・できるだけ料理を作るようにする。

・私は小学5・6年生のときみそ汁の作り方を親から教えてもらい、私は母に質問をした。「なんで料理しないといけないの？」と。母は、「あなたが将来大きくなって一人暮らしをしたらお母さんがいないから、できるだけ自分でできるようになるとかないといけないよ。」と優しく母は言っていた。そのとき私は、「将来のためだ」と思い、今でも家族みんなのご飯を作っている。だから講演を聞いて、親が家事をするのが当たり前ではないと気づきました。

・はなちゃんがすごいなって思った。自分があの年だったらぜったいできていない。自分も家族のみんなにご飯を作っ  
ていこうと思った。話を聞いてて赤ちゃんを産む親がいることにびっくりしました。けど自分もその事については、何か言おうとは思いませんでした。自分は子供が好きなので、産まれたら一緒にご飯を作ったり洗濯物をしたりしようと思いました。

・弁当を作るだけで人生に大きく影響することを知って、これからは料理を手伝っていきたい。

・自分にとってはできて当たり前でも、他の人にはできなくて当たり前なんだと思った。普段から料理をすることはあっても当たり前ではなくて、気まぐれでやっていた。

・ごはんを作ってくれることを当たり前だと思わない。

・僕はよく料理を作るので、これからも継続していきたくて思いました。

・最近、自分で料理をしたりすることがなくなってきていたので、忙しい中ご飯を作ってくれる両親に感謝をして自分でもご飯を作っ  
ていこうと思いました。親がいて、温かいご飯を食べられることにも感謝しようと思います。

・育つ環境でいろいろ変わるんだなと思った。今からでも親にご飯を作ってみたいです。大人になって自分の子ができたら、台所に一緒に立って教えていき、思いやりのある子にしたいです。自分もこれからは、当たり前をなくしていき  
たいです。

・最初のスライドショーを見てとても感激しました。自分にご飯を作らないのは当たり前だと思っていたので、考えが  
ひっくり返されました。自立していくためにも今の時期からそういうのに関わって生きていきたいです。

・私は、はっきり言って料理が全く出来ません。しかし今日の講演を聞き、自分自身が変わろうと思うことができました。親に任せっきりではなく将来のことも考えて、過ごしていきたいと思いました。そしてはなちゃんの話聞いて、  
心に残りました。本当に、感動と変わるチャンスがありありがとうございました。

・私も、仕事でお母さんの帰りが遅い時、私が夜ご飯を作っています。最初の頃は、みそ汁と目玉焼きとレタスとかを  
作ってお父さんと二人で食べていたけど、中三になってから、キャベツの千切りや揚げ物、ヤンニョムチキン、鍋など  
作れる料理が増えてきました。料理が作れる環境、お母さんが夜おそくまで私たち家族のために仕事を頑張ってくれて  
いることに感謝したいです。これからも料理、家事は積極的にやっていきたいです。

・私は、母が料理を作っ  
て当たり前だと思っていました。でも今日の講話を聞いて、私も料理を作れないといけないと思  
うようになりました。いつも仕事で疲れているのに、おいしい料理を作っ  
てくれる母に感謝したいです。母に料  
理を教えてもらい、自分で料理ができる人になりたいです。今日は、ありがとうございました。